

## 地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター 谷山北

【計画】

作成担当者： 平田 大介

開催日時	令和01年06月27日 14:00 ~ 16:00	開催場所	谷山北公民館
参加者	コミュニティ協議会：6人、社会福祉法人：5人、大学教授：1人、保健センター：2人、地域包括支援センター職員		
	総数	14人	
内容	テーマ	谷山北圏域の地域課題について	
	目的	谷山北圏域の地域課題を協議し、その解決を図る	
	概要	①委嘱状交付 ②平成30年度谷山北事業所活動報告 ③令和元年度第1回介護予防・生活支援サービス事業者協議会の報告 ④認知症地域支援推進員より ⑤意見交換	

【結果】

開催日時	令和01年06月27日 14:00 ~ 16:10	開催場所	谷山北公民館
参加者	コミュニティ協議会：7人、社会福祉法人：4人、大学教授：1人、保健センター：2人、地域包括支援センター職員		
	総数	14人	
内容	<p>今年度の谷山北地域ケア推進会議では、委員の交代を行い、圏域内のコミュニティ協議会より委員の選出を依頼した。併せて前年度に引き続き、圏域内の福祉施設等の施設長等で委員を構成している。②では、当センターの活動紹介を含めて、前年度の各事業における実績を報告。また、個別のケース支援から地域ケア推進会議を通じて、圏域内の地域課題を発見し、解決を図るための社会資源の創設、圏域内で解決できない課題に対する行政への政策提言までの理念を説明した。③では、担当者より、今年度より開始となった「鹿児島市支え合い活動補助金（訪問型住民主体サービス）」「介護サービス事業所活用支援事業」の説明を実施した。④では、担当者より「認知症ケアパス」「認知症カフェ」についての説明を実施した。上記の説明を行ったうえで、委員の皆様と⑤意見交換を実施。コミュニティ協議会では、それぞれの校区ごとに「コミュニティプラン」を作成しており、作成にあたっては地域住民に対するアンケートを実施している。アンケートには共通して「高齢者の増加に伴う、近隣住民同士の助け合いが必要」「交通の便が悪く、自家用車を手放すと買い物に困る」「災害時が心配」等の意見が確認された。今回は、前段で説明した「鹿児島市支え合い活動補助金（訪問型住民主体サービス）」の活用の可能性について各コミュニティ協議会の代表者より意見を伺う。委員からは、「以前、全体の集まりで一度説明を受けたことがあるが、今日の説明で良く分った。持ち帰り、役員間で話し合ってみたい。」との意見や、「補助金申請に伴う事務や、困っている高齢者とのマッチングなどに不安がある。」等の意見を確認することができた。当センターとしては、本事業の普及と地域住民の社会参加を促進させ、圏域内における地域包括ケアシステムの構築を図りたい。そのためには地域住民に対する丁寧な説明や、改善点についての行政との協議を重ねて行く必要がある。</p>		
今後の課題など	①第2回地域ケア推進会議にて、各校区の福祉的課題を協議する。 ②広域的な課題に対する鹿児島市代表者会議の活用（政策提言機能）		